



◆ 隔日の分散登校で2学期が始まる ◆ — 家庭学習の生徒は、授業の中継や動画配信などでオンライン学習に取り組みました。 —

9月1日から、出席番号で奇数グループ、偶数グループに分かれて1日おきに登校する形態で2学期が始まりました。



登校しない日は、家庭でオンラインによる学習を行いました。実際の授業を中継したり、授業を家庭学習用にアレンジした動画を配信したりするなど、教科や授業ごとに、効果的な家庭学習をめざして工夫が行われていました。

学習の進め方

- 動画(約20分)での講義となります。動画を視聴し、自分の解答をノートにまとめてください。
- 各自のやり方で学習を進めてください。動画視聴→問題を解く
問題を解く→動画を視聴
動画は必要に応じて止めながら視聴してもかまいません。

9月21日から、県立学校では、実技や実習を伴う授業、就職や進学に関する進路指導等を充実するために、通常の登校、通常の授業が再開されることになり、本校も、同日から、通常の登校及び授業になりました。今後も、十分な感染防止対策を図って教育活動をすすめていきます。

◆ 耐久OB 酒井敏行先生「耐久高校の時の夢とその実現 -世界中のがん患者を救う画期的抗がん剤の発見-」と題して講演 ◆ — 高校生のための和歌山未来塾 —

和歌山県主催「高校生のための和歌山未来塾」が、9月4日に開催されました。当初は、湯浅えき蔵を会場に高校生等約100名が集まって講演を

視聴するという計画でしたが、コロナ禍のため、やむなくオンライン開催となりました。参加を予定していた耐久生約70名も自宅での視聴になりました。自宅での視聴とは別に、以前から質問を準備していた生徒や家庭のネット環境が十分でない生徒は、当日、学校に集まり視聴することになりました。



現在、京都府立医科大学創薬センター長である酒井敏行先生が、耐久高校在学中にご家族を骨肉腫で亡くされたため、抗がん剤の開発を夢見て、夢の実現に向け、ひたむきに研究を続けられてきたこと等を高校生に分かりやすく語りかけてくださいました。その後チャット機能を用いた質問コーナーでは、高校生からの質問に丁寧に答えられました。

最後に「夢を忘れることなく、自分の可能性を信じて、粘り強く、人間関係を構築しながら、少しずつ努力して行ってください。」というメッセージをくださいました。講演を視聴した生徒からは「常に高みを目指し続ける酒井先生の姿勢、生き方に感銘を受けました。」「夢を持つ大切さに気づかされました。」「何事にも地道な努力が必要だと改めて感じました。」「自分の進みたい進路目標に向かって、素直に頑張っていけばいいんだと思いました。」「決めたことをやり通すことの大切さ、すごさを知り、自分も努力しなければいけないと思いました。」「自分の学校に、こんなにすばらしい先輩がいることを知り、うれしくなりました。」等の感想が寄せられています。